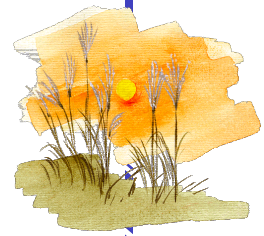


やかた

平成28年 9月16日(金) 発行責任者 校長 藤田秀平



市英語弁論大会 ～ 8/30(火)

夏休み明け最初の校外行事、英語弁論大会が市文化センター大ホールで行われました。

始業式でも、予行をかねて発表しましたが、その時よりもさらに上手に堂々と発表することができました。



創作の部 3年 佐藤るな さん
Just as I am



暗唱の部 2年 阿部友里亜さん
Stone Soup



9 / 1 (木)
いわき市中体連
駅伝競走大会

- 女子 23位
- 1区 佐藤 寿奈
 - 2区 金成 夏海
 - 3区 北郷 紗良
 - 4区 荒川加奈子
 - 5区 酒井 麗



- 男子 16位
- 1区 塩井 颯太
 - 2区 石川 竜也
 - 3区 箱崎 優大
 - 4区 大平 歩
 - 5区 豊村 龍
 - 6区 中村力輝斗

特設駅伝部員は、夏休みも猛暑の中、毎日走り続けました。女子は5区、男子は6区のたすきをつなぎ、精一杯走り切りました。

総合体験学習 ～ 9/13(火)・14(水)

総合的な学習の時間における体験活動が、学年ごとに行われました。2年生はファイナンスパークで、各自、仮想の年収額をもらい、その額をもとに生活設計・資産運用などについて学びました。保護者ボランティアの協力を得て、有意義な活動となりました。



必要な経費は？



株価のボードを真剣にチェック

～学習や生活に対する基本姿勢～（校長雑感）

学習や生活に対する心構えとして、よいお話がありますので一部抜粋して紹介します。（ある年の全日本中学校長会役員研修会での講演）

講演「希望を語る」 東京大学社会科学研究所教授 玄田 有史 氏

～ある学校を訪問して学生からの質問

「自分は勉強が大嫌い。解けないし、分からないし、面白くない。勉強していったい何の役に立つの？」に対する玄田教授の考え～

私は、勉強する理由は、分からないことになれる練習をしているのではないかと考える。分からないことから逃げ出さないというのが勉強であり、そのことが社会へ出てから一番役に立つのではないかと考えている。社会に出ると、待っているのは訳の分からないことの連続である。どんな職業であっても、それでもやっていかなければならない。その時、100点満点がとれなくても51点以上取れば次に進める。「分からん」から逃げ出さない心と体でいたら、必ずチャンスとか希望はやってくると思う。



この教授が言っているように、社会に出れば、ほとんどが正解のないことばかりです。まず、これで100点満点と言うことはありません。

特に、トラブル処理には、何が正解なのか分からないことが多いものです。

ビジネスの最前線で戦っている人たちは、分からない問題にもがき苦しみながら、正解をひねり出そうと日々努力している人たちです。

☆ 格言（井上靖の名言）

戦後、多くの文学作品を執筆した作家。
代表作『天平の甕』、『しろばんば』



努力するものは希望を語る、

怠けるものは不満を語る。

努力している人は、「こうしたい、こうなりたい」と前向きに希望を話します。しかし、努力していない、何もしていない人にかぎって、「でも、あれがこうだった」と後ろ向きに不平や不満を言いがちです。